

静岡県浜松市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2024年

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	電力自給率【7.1,7.2】	2020年 16.0 %	2021年 18.1 %	2022年 18.9 %		2024年 17.5 %	193%
2	市内総生産額【8.2,8.3】	2018年 31,766 億円	2021年 データなし	2022年 データなし		2024年 33,000 億円	—
3	居住誘導区域内人口密度【9.1,9.2】	2018年 61.5 人/ha	2021年 60.7 人/ha	2022年 60.6 人/ha		2024年 61.5 人/ha	99%
4	自分にはよいところがあると思う子どもの割合【4.1,4.2,4.4】	2019年 83.6 %	2021年 76.1 %	2022年 77.9 %		2024年 85 %	-407%
5	居住誘導区域内人口密度【11.1,11.2,11.3】	2018年 61.5 人/ha	2021年 60.7 人/ha	2022年 60.6 人/ha		2024年 61.5 人/ha	99%
6	ごみ総排出量【12.2,12.7,12.8】	2020年度 214,378 t	2021年 210,948 t	2022年度 207,248 t		2024年 206,352 t	89%
7	自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合【13.1】	2020年7月 75 %	2021年 74.2 %	2022年 74.1 %		2024年 82 %	-13%
8	環境に配慮して生活していると思う人の割合【15.1,15.2,15.4】	2018年 47 %	2021年 37.6 %	2022年 35.3 %		2024年 67 %	-59%

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2024年）

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2024年目標値	達成度（%）
1	林業・木材産業の成長産業化	森林組合等における年間素材生産量	2019年 14.1 万㎡	2021年 12.1 万㎡	2022年 12.2 万㎡		2024年 18.1 万㎡	-48%
2	林業・木材産業の成長産業化	FSC認証材の年間生産量	2019年 67,048 ㎡/年	2021年 65,657 ㎡/年	2022年 58,273 ㎡/年		2024年 143,000 ㎡/年	-12%
3	天竜材の利用拡大	森林・環境教育受講者数	2019年 642 人	2021年 189 人	2022年 688 人		2021～2024 700 人（毎年度）	79%
4	天竜材の利用拡大	天竜材使用木質化件数	2019年 5 棟	2021年 13 棟	2022年 19 棟		2024年度 20 棟	93%
5	天竜材の利用拡大	天竜材使用木造住宅数	2019年 146 棟	2021年 160 棟	2022年 154 棟		2024年度 250 棟	8%
6	持続可能な森林経営の推進	F S C 森林認証面積	2020年度 49,130 ha	2021年 49,441 ha	2022年 49,538 ha		2024年度 50,100 ha	42%
7	持続可能な森林経営の推進	森林間伐面積	2018年度 2,456 ha	2021年 3,212 ha	2022年 R6.2頃		2021～2024 8,000 ha 年の累計	—
8	再生可能エネルギー等の導入／省エネルギーの推進	エネルギー（電力）自給率	2020年3月 16.0 %	2021年 18.1 %	2022年 18.9 %		2024年 17.5 %	193%
9	スマート化の推進	スマートシティに資するプロジェクトの創出数	2020年3月 8 件	2021年 9 件	2022年 9 件		2024年 12 件	25%
10	外国人の子どもの就学状況の実態を継続的に把握し、訪問による就学案内・情報提供、教育相談等、就学に向けた教育支援を行うことにより、不就学の解消を目指す。	外国人の子どもの不就学児童生徒数	2020年3月 4 人	2021年 1 人	2022年 4 人		2024年 0 人	0%

静岡県浜松市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2024年

(3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

(1)-1：電力自給率

再生可能エネルギーの導入を積極的に推進した結果、エネルギー（電力）自給率は目標に到達
特に太陽光発電の導入容量は、601,528kW（R5.3月現在）と引き続き全国市区町村の中でトップ

(1)-3、5：居住誘導区域内人口密度

居住誘導区域内人口密度の2022年度実績値は60.6人/haであり、一定程度の維持ができています。平成31年に策定した立地適正化計画に基づき、引き続き、誘導区域への都市機能や居住誘導を図る。

(1)-4：自分にはよいところがあると思う子どもの割合

2022年度実績は、小学校77.8% 中学校78.0%となり、前年度より増加している。新型コロナウイルス感染症が落ち着き始め、学校行事も徐々に復活してきたことなどにより、自分の良さを発見する機会が増えてきたことが影響していると考えられる。今後も、子供と大人の心の通い合う温かい人間関係を構築し、児童生徒が自己肯定感を育むことができる機会を増やしていくことが重要である。

(1)-7：自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合

自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合の2022年度の実績は、前年度に比べ0.1ポイント減の74.1%であった。これは、2020年以降の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、自治会や地域の団体からの防災に関する出前講座の申込み件数が低調であったことや地域での防災訓練を実施することができなかったことも影響している可能性が考えられる。今後については、これまでの対面式の出前講座を実施しつつ、コロナ禍を契機に始まった講座のWeb開催も併用し、目標値の達成に向けて取り組んでいく。

(1)-8：環境に配慮して生活していると思う人の割合

環境に配慮して生活していると思う人の割合は、2022年度実績で35.3%にとどまっている。移動環境教室や環境イベントなどの環境教育、海岸・湖岸の清掃美化活動、生物多様性保全の取組みを通して、市民の身近な自然や地球環境問題への意識を高め、行動変容を促す。

(2)-1：森林組合等における年間素材生産量

(2)-2：FSC認証材の年間生産量

(2)-3：森林・環境教育受講者数

(2)-4：天竜材使用木質化件数

(2)-5：天竜材使用木造住宅数

(2)-6：F S C 森林認証面積

(2)-7：森林間伐面積

森林・林業分野については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う景気の低迷や台風等の影響から、素材生産量及びFSC認証材生産量について、目標に達しなかった。しかし、ウイズコロナ・アフターコロナの考え方から、出前講座の回数・受講者が増加し、森林・環境教育受講生が増加した。現在、コロナも5類に移行し、関係業者等が積極的に木材生産活動を行っているため、素材生産量の増加に期待したい。

FSC認証林認証面積は順調に増加しており、天竜材使用木質化の件数も周知等の効果により増加している。天竜材木造住宅数は目標達成には至っていないため、更なるPR活動を行い、目標の達成を目指す。

(2)-8：エネルギー（電力）自給率

再生可能エネルギーの導入を積極的に推進した結果、エネルギー（電力）自給率は目標に到達
特に太陽光発電の導入容量は、601,528kW（R5.3月現在）と引き続き全国市区町村の中でトップ

(2)-9：スマートシティに資するプロジェクトの創出数

プロジェクトの創出数は9件であり、目標に至っていないものの、実装に至った件数は2件と目標を達成している。

今後、これまでのスマートシティ推進協議会を新たに「浜松市カーボンニュートラル推進協議会」として発展させ、中小企業を含む会員企業への多面的な支援や分野横断的なモデル事業の横展開により、新たなプロジェクトの創出、社会実装を図る。

(2)-10：外国人の子どもの不就学児童生徒数

教育委員会や外国人学校等の関係機関との連携により、就学状況の継続的な把握、訪問調査やカウンセリング、就学情報の提供、就学支援教室の開催により就学に課題を抱える外国人の子どもの学びの場を確保に努めているものの、家庭問題や経済問題、日本語習得、日本の生活・文化への適応などの課題がある。不就学者については個人を特定しており、本人や世帯の状況に寄り添いながら定期的な家庭訪問の実施による個別対応を継続することで、引き続き外国人の子どもの就学促進を図る。